国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称 外科 Ramucirumab+FOLFIRI療法 (int					user pum	nump) 臨床区分				抗癌剤適応分類					登録日		2016年9月15日	
疾患名		大腸癌	大腸癌				='	☑ 日常診	療			□ 進行・	再発化学	療法				_
診療科名 外科							□ 単施設自主研究				□ 術後化学療法						4.45	
登録医師名 大塚 真哉							□ 他施設自主研究				□ 術前化学療法				1クー	ル期間	14⊟	
							□ 市販後臨床研究				□ 局所療法				宇施	回数	/0	
							□治験				□その他						/ 🗉	
Rp		薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	dav1	_	_	_	投 生 一	3 8 _	_	l –	T –	_	注意コメント
	ייםNaUלון "אא	ック用100単位/mLシリンジ 10	1 1	本														
1			ļ		静注				_	_	_	_	_	_	_	_	_	
	生理食塩液	₹	250	mL														血管確保用
2					点滴静注	メイン			_	_	_	_	_	_	_	_	_	※開始から終了までECGモニターを 装着すること
	生理食塩液	<u> </u>	100	mL														X a y occ
3		·ロン静注0.75mg	1	瓶	点滴静注	側管	15min		_	_	_	_			l	l		
		·注射液 6.6mg	1 1	瓶	黑洞即江	KI E	1311111	, • '					.]		1		1	
	ポララミン 生理食塩液		適宜調整	管 mL														
		、 「点滴静注液	8	mg/kg														1)フィルター付き点滴セット使用
5					点滴静注	メイン	60min									_		2) 投与速度: 25mg/minを超えないこと。 3) 投与前後で生理食塩液でラインをフラッシュ
5					州间野土	スイン	OOM				_							すること。
																		4) 全量250mLに調製する。
	5%糖液		250	mL														レボホリナートとイリノテカンは同時に
6		ート点滴静注用	200	mg/m2	点滴静注	メイン	120min		_	_	_	_	_	_	_	_	_	
	CO/顺本		050															
7	5%糖液	コン塩酸塩点滴静注液	250 150	mL mg/m2	点滴静注	側管	90min								_		_	レボホリナートとイリノテカンは同時に
'	1 22 77	フン 弧点交弧 ボバリカチエバス	130	1118/1112	T. FEI DIVIN	Z D	30111111											
		フラシル点滴静注	400	mg/m2														レボホリナート終了後
8	生理食塩液	<u> </u>	50	mL_	点滴静注	側管	全開で		_	_	_	_	_	_	_	_	_	15分以内で投与終了
	フルオロウ	フラシル点滴静注	2400	mg/m2														インフューザーポンプ(46時間)
9	生理食塩液	Į.	50	mL	持続点滴	側管	46h		_	_	_	_	_	_	_	_	_	全量110mLに調製する。
	VIV. IIANOU	ック用100単位/mLシリンジ 10	1 1	本														
10	WI DINAL	//m 100年世/11に/ラ/ク 10	 	<u> </u>	静注				_	_	_	_	_	_	_	_	_	
			†)										
備考標														_				
1																		

ᇴ

in patients with metastatic colorectal carcinoma that progressed during or after first line therapy with bevacizumab,oxaliplatin,and a fluoropyrimidne (RAISE):a randomised,double-blind,multicentre phase 3